

令和7年度 第1回 民芸館運営協議会会議録

1 日時

令和7年8月28日（木）午後2時00分～午後3時30分

2 開催場所

平戸橋いこいの広場多目的室

3 出席者

〔委員〕

佐藤 一信、水野 半次郎、釘宮 順子、近藤 善房、本多 謙二、内田 美穂子（以上6名）

欠席：小山 幾子

〔事務局〕

成瀬副部長、高橋博物館副館長、梅村民芸館長、北谷主査監、濱井主査、(株)技研サービス 三代
（以上6名）

4 会議の経過

事務局から副部長のあいさつ、会長あいさつ、出席委員の報告（6名）を確認し、本会議が成立することを宣言した。議事録署名人として、会長を含む職務代理者の水野委員を指名した。傍聴人なし。

5 会議内容

事務局

（1）令和6年度の実績報告について

- ・資料1により、令和6年度の豊田市民芸館観覧者数、施設利用者数、事業実績などについて事務局から説明した。

（2）令和7年度事業進捗について（北谷、濱井 (株)技研サービス 三代）

- ・資料2により事務局から「1 展覧会事業」、「2 普及推進事業」「3 施設維持管理事業」について、説明した。

(意見、質問)

委員

寄贈資料で 62 件 548 点の寄贈があったということだが、収蔵庫内は、様々な資料で飽和状態のように見受けられる。庫内に新規の寄贈資料を保管する余裕があるのか。

事務局

余裕があるとは言い難いが、平成 28 年度に民芸の森に収蔵庫を新設している。新設収蔵庫では、棚卸ろし、分類、整理を進めている。他の収蔵庫は、土蔵や工房棟地下倉庫等、温湿度管理に苦勞する部分もあるが、課題を改善しながら使用したいと思う。

委員

寄贈資料の内訳として、企画展を契機に寄贈された資料の他に一般の方が寄贈を希望された場合も資料の受け入れを行っているのか。

事務局

行っている。現在は所属内で検討しながら寄贈受入れの可否を判断している。

委員

令和 5 年度から 6 年度にかけて民芸館の入館者数が 2,000 人弱増え、民芸の森でも 1,000 人弱増えたことに何か理由はあるか？

事務局

充分な分析にまでは至っていないが、有料の展覧会であっても従来からの根強いファンが来館してくださっているようだ。

委員

民芸館の単館パスポートはどの程度の利用があるのか。3 館パスポートの利用もどれくらいなのか。

事務局

3 館パスポートは年度の下半期から開始したため、昨年度は目標には達しなかった。今年度に入り販促を進め、今は大きな展覧会を開催しており、昨年度分を取り戻せるだろうと思っている。

事務局

昨年度の民芸館の単館パスポートは 78 枚販売している。今年度は 7 月までで 11 枚。3 館パスポートを多く購入いただいている。民芸館で 3 館パスポートは昨年度 68 枚販売しており、今年度は 4 月から 7 月までで 139 枚販売している。

事務局

民芸館の単館パスポートが 78 枚という数は博物館でも同じくらい。年間にある展覧会のラインナップを全部 1 回観るという想定で金額を積み上げて考えるとかなりお得である。例えば博物館のエジプト展に来る方でパスポート買いたい人は、エジプト展を何回も観に行きたいというモチベーションで買われていると思う。単館だと 4,000 円だが 3 館で 6,000 円のため、3 館パスポートを買った方がお得と感じていただけているのではないかと。

会長

博物館と美術館で大型の展覧会が計画・開催されることにより、民芸館にも誘客が及ぶということか。

事務局

混雑する大規模展に際しては、同日ではなく複数日に渡って 2～3 館を周遊する傾向もある。3 館連携の効果は高まってきている。

会長

3 館パスポートを購入したことで、時期をずらしての来館にも繋がる。

委員

民芸館の講座は、指定管理者制度を導入して以前と同様に人が集まっているということか。これは常連が多いのか、新しい人たちが増えているのか。

事務局

民芸館講座を 20 年以上やっているが変わらない傾向である。一定数は上級者ということで常連の方が多い。参加者のうち 1 割から 2 割程度が毎回、初級コースに参加し、更に継続し上級に進むのは 1 割から 2 割くらいと緩やかに新陳代謝をしている。

委員

少し緩やかに変わっているようだが、宣伝の方法は変わっていないのか。

事務局

変わっていない。

委員

おいしい民窯展で博物館と連携したが、今後も連携する予定はあるか。

事務局

それぞれの館の企画内容を見ながら、時宜を得てやっていきたい。和食展の開催を2年前に方向づけた際には、民芸館と明確にどのように連携できるかという見込みがあった訳ではない。元々民芸というものは暮らしの中の道具で、和食の道具という点においても我々との距離感が近く、民芸館でもこのような企画ができる、となった。観覧者の往来ということも将来的に期待できるのではないかと思う。

委員

展覧会アンケート資料を見ると、駐車場がわかり難いとのコメントが見受けられる。また、14%程度の来館者は公共交通を利用しているようだ。平戸橋駅から民芸館まで距離があるが、それでも公共交通を利用して来られている方たちがいるのは興味深い。

委員

「モネ 睡蓮のとき」展と「古代エジプト」展の最初の頃の平日に美術館と博物館に行ったが大盛況だった。非常に嬉しいことだが、民芸館では、今後どのような展覧会が企画されていくのか。やはり民芸館では、民芸という思想や視点を認知していただくための展示がふさわしいと思う。

会長

民芸館としては、民芸思想の普及や民芸資料の価値を認知していただくことが一番大事ということか。

委員

私は、色々なものを幅広く見せるのではなく、民芸の考え方をいかに皆さんに認知していただくか工夫することの方が大事ではないかと思う。

会長

その辺りの話は令和 7 年度の事業進捗の話が今からあると思う。

委員

平戸橋公園は、民芸館を目的に利用される方と散歩やウォーキング等で利用される方のどちらが多いのか。民芸館というよりも、平戸橋公園をもっと利用していただけると私としては嬉しい。公園内の桜も植替えの予定があると聞いている。桜だけでなく四季折々に利用者を増やす取組ができるといい。

会長

民芸館は一帯を積極的に整備して、四季の自然に触れることができるように守っている。他ではなかなか真似することはできない。どちらかと分けずに積極的に一帯でやってけるといい。

(2) 令和 7 年度事業進捗について

- ・資料 2 により事務局から「1 展覧会事業」、「2 普及推進事業」「3 施設維持管理事業」について、説明した。

会長

この報告についてご意見やご質問あったらお願いしたい。

委員

ミネアサヒのおにぎりランチは展覧会開催期間中の隔週日曜日に販売とある。今年度 3 月まで展覧会はあると思うが販売する予定なのか。

事務局

はい。今の予定では次年度も米の確保をお願いしている。

委員

昔から飲食関係は難しく、レストランという声も上がっていたが行政ではなかなかできなかった。民間が入ることによってどうなるのかと思った時もあった。指定管理の期間が 3 年でサービスを長期的に続けることはなかなか難しいと思うが、今後も積極的に何かしていく予定はあるか。

事務局

指定管理者に自主事業として柔軟に対応してもらっている。まずはニーズ調査ということで1～2年実施して、実績をもとに行政としてできることを考えていく。新たに常時飲食を提供する場を設けることは難しいと思うので、まずは行事や毎週末に軽食などを提供できることを目指したい。

委員

民芸の森の駐車場に隣接している竹が枯れているが今後どうするつもりか。また、森のアート展の今後の予定を聞きたい。

事務局

竹枯れはこの地域全体での環境的な課題である。昨年度も運営協議会でご質問いただいているが、倒れる恐れのある危険な竹は、適宜間引き自立する竹は現状のままの状態。日々の管理の中で危ないものは間引きつつ、更にその竹を活用して垣根を新調するなど、使用しながら様子を見ている。

事務局

森のアート展については、昨年度にすでに今年度の公募・選定が済んでいる。年明けの1月から新しい作家の開催が決まっており準備を始めている。内容については映像インスタレーションで部屋を展示する作品構成になっている。

委員

先ほど博物館との連携という話があったが、瀬戸民藝館との連携は何か検討しているのか。

事務局

おいしい民窯展では講演を依頼した。また、次回企画展の鈴木繁男展では、展示資料を借用する。現在は、相互割引を実施している。瀬戸民藝館では、年間パスポートを作られる予定があると伺っているので、相互割引などができればと考えている。

委員

夏休み期間中の体験講座について、民芸の森倶楽部でも以前、工作体験の企画を実施した。涼しい室内での講座は人気が高いので、今後も工作などを企画するといい。また、秋も枝下用水沿いや前田公園の階段沿いに紅葉を観に来る方が多いので、秋冬行事を企画するといい。おにぎりランチは、販売日を増やすなど検討をしてもらいたい。

委員

緑化センターでも時々飲食物の販売がある。やはり食べ物があるとよい。暑い環境の中で子どもたちが歩いてクイズなどに参加できることは博物館、美術館とは違う異空間になる。民芸館まで行くことへのハードルはあるが、来館すれば静かでゆっくりできるので海外の人も含めて、多くの人に知って頂きたい。自然もあるので夏はクールシェアをしながら民芸館に来て頂けるといい。

委員

以前（いこいの広場）にレストランがあった。ニーズに合っているのかが問題。また、平戸橋駅から民芸館までが遠いため、沿道や枝下用水沿いにベンチなどが設置できるといいと思う。

会長

過去にレストランがなくなったということは、何かマッチしてない部分があったのではないか。今、できることを持続可能なかたちでやっていくことが大切である。おにぎりランチを販売して完売が続いているので、このメンバーも含めて見守っていくということが大事ではないか。また、運営協議会で積極的にご提案願いたい。

（３）その他

委員

6月に瀬戸市で開催された民藝夏期学校等の報告

会長

以上で協議事項を終了する。

（４）事務局から連絡

以上で第１回民芸館運営協議会を終了する。